

市長コラム

～未来への架け橋～

Vol.19



本格的な夏の訪れとともに、いよいよまつり本番が近づいてきました。現下の状況から、規模を縮小しての開催となりますが、新作中型立佞武多「金太郎」をはじめ子どもや親子連れでの市民参加型のまつりという趣向のもと、より魅力がアップしたまつりになるものと期待をしています。

ぜひ多くの市民の皆さんにご参加、ご観覧いただき、「オール五所川原」で盛り上げていきたいと思ひます。

★新型コロナの感染再拡大への対策をお願いします

従来型より感染力が強いオミクロン株の新系統「BA.5」への置き換わりが急速に進んでおり、全国的な感染再拡大は「第7波」到来ともいわれています。当保健所管内におきましても7月から感染者が増加し、世代別に見ても、幼児から高齢者までの幅広い層で感染が確認されています。今後は、夏休みやお盆といった旅行や帰省など人の移動が増える時期を迎えることから、さらなる感染拡大も危惧されます。

こうした状況の中、社会経済活動を継続しながらも感染拡大を防ぐことが重要であり、そのためには、一人ひとりの感染予防への心掛けが非常に大切です。今一度、感染防止対策の基本に立ち返り、気を緩めることなく、感染拡大防止にご協力いただきますようお願いいたします。

★笑顔あふれる地域コミュニティであるために

人口減少、高齢化の進行に加え、長引くコロナ禍による行動制限や活動自粛の影響で地域コミュニティが脆弱(ぜいじゃく)になりつつあり、特に、高齢者のみの世帯や一人暮らし高齢者の増加、そして年々増加している老老介護なども相まって、孤独や孤立を感じている人が多くなっています。こうした地域の結びつき、コミュニケーションの希薄化が招く社会的孤立は、地域社会にとって大きな課題であると感じています。

近年、情報のデジタル化が急速に進む中、利便性が著しく向上する一方で、人と人とのふれ合い、心の通った会話



『金木老人クラブ連合会ノルディックウォーク体験会』の様子

やあいさつは、私たち社会の中で決しておろそかにしてはいけないものだと思います。

地域コミュニティが健全であるための基本となるのが「あいさつ」であり、笑顔と誇りにあふれる街づくりには不可欠であると考えています。孤独や孤立の無い「だれ一人取り残さない社会づくり」を目指して、地域全体で「あいさつ」の大切さを今一度共有し、行き交う人たちが自然に「あいさつ」を交わし、笑顔があふれる地域でありたいと願っています。

また、年齢や障害の有無に関わらず、多くの市民の方々の居場所づくりや活動の場として、市広報には、市や民間団体によるさまざまな催しが掲載されています。関心のある方はもちろん、今一つ踏み出せない方も、お気軽にお問い合わせていただき、この機会に参加に向けた一歩を踏み出してみたいかがでしょうか。

★「第1回全国高校生1億円プロジェクト」が開催!

全国の有志高校生が一堂に会し、「日本を元気にする」というコンセプトで「第1回全国高校生1億円プロジェクト(以下「億プロ」)」が、立佞武多最終日の8月8日(月)に開催されます。

この「億プロ」は、「SBP(ソーシャル・ビジネス・プロジェクト)」に取り組む全国各地の高校生たちが、地元の特産や地域資源を生かしたオリジナル商品の展示販売、個性豊かなパフォーマンスなどを行うプロジェクトであり、記念すべき第1回が当市で開催されます。

市からは、五所川原第一高校、五所川原商業高校が参加しますが、未来を担う高校生の皆さんが、自分たちの地域を愛し、元気にするために自主的かつ積極的に取り組む姿は大変頼もしく、地域の未来にとって大きな希望であると感じています。

市民の皆さんには、ぜひ足を運んでいただき、高校生たちのアイデアとエネルギーが存分に込められた成果をご覧ください(3ページ掲載)。



『五所川原商業高校りんごストーリー完成報告』の様子